

# 平成27年3月期 決算短信補足資料 今後の当社経営戦略ビジョン

---

パートナー企業とのアライアンスを通じ  
多言語対応新製品を展開

～新たな飛躍のスタート～



株式会社TBグループ（証券コード：6775）

2015年5月

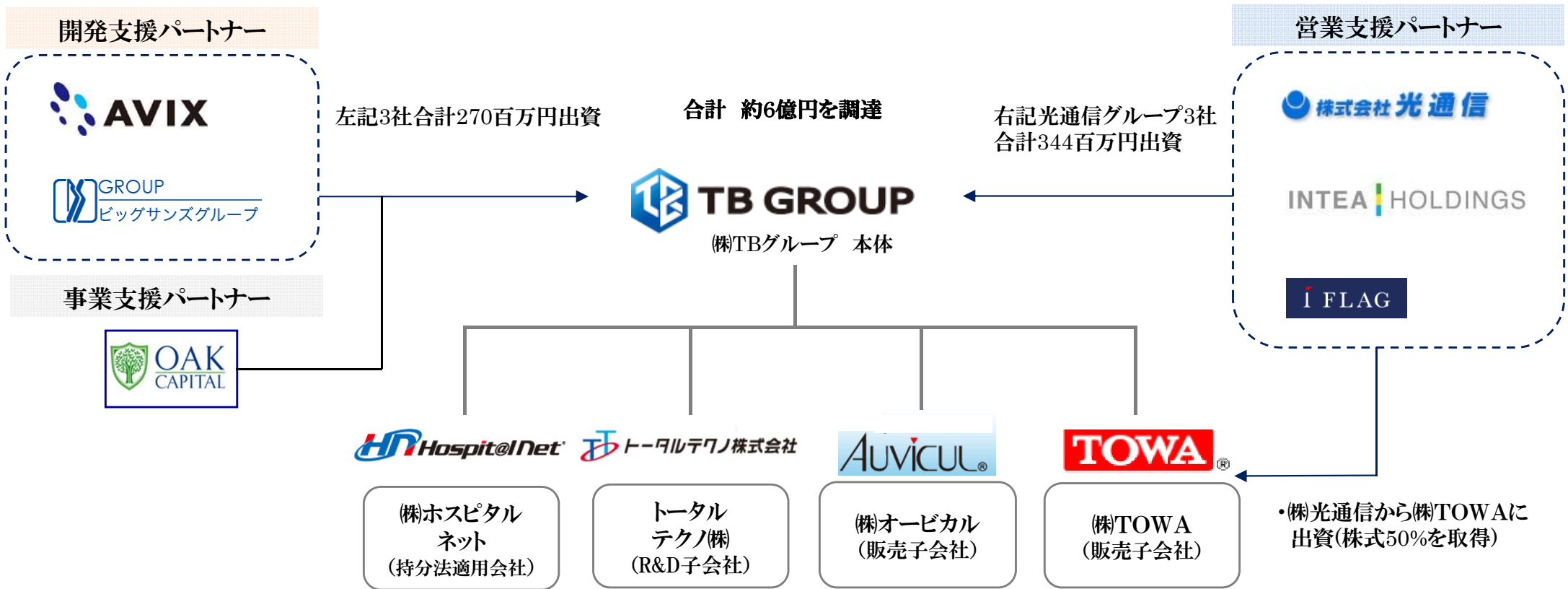
# 今期(2016年3月期)の連結業績予想 (2015年4月1日～2016年3月31日)

(単位:百万円)

	2015年3月期実績	2016年3月期予想		
		上半期	下半期	通期
売上高	3,682	2,000	2,500	4,500
営業利益	▲292	20	80	100
経常利益	▲285	10	75	85
当期利益	16	5	70	75

# 2015年春の資金調達 – 新たな飛躍に向け、事業パートナー及び投資資金の獲得

- 2015年3月31日公表。新株式の第三者割当増資により、株式会社光通信グループを中心に6社から約6億円を調達
- 2016年3月期(今期)中に、多言語対応のLED表示機・デジタルサイネージ・決済システム新製品の開発及び販促資金に充当の計画
- 本第三者割当増資の割当予定先との間では緊密な協力関係を築き、新製品開発・販売面で全面的な協力関係を樹立いたします



- 多言語対応新製品／スマートレジ新製品の開発
- 全国的な営業力の強化

# 各事業パートナーとの具体的な協業計画

各事業パートナーの強みを活かし、TBグループの新たな飛躍に向けて、新製品開発そして製品拡販に向け緊密な協業を進めてまいります

	パートナー企業	特徴及び協業の計画
全国的な営業支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>• (株)光通信は、OA機器や携帯電話等をはじめとした情報通信分野を中心に強力な販売力を有する企業。店舗を運営する中小企業向けのITソリューションサービスも展開。光通信では、今回の出資に併せ、当社の販売子会社である(株)TOWAの株式を50%取得し、販売面でより緊密な関係を樹立</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• (株)インタ・ホールディングスはスマートフォン向け電子書籍等のコンテンツ配信事業を行う。同社の持つ電子書籍等のコンテンツ配信技術や広告配信、コンテンツ企画等ノウハウを、今後当社の製品技術・顧客サービスの向上に活用</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• (株)アイフラッグは中小企業向けホームページ制作ソフト開発事業、各種ポータルサイトの運営、広告掲載サービス等店舗への来店促進サービスを提供。同社の持つ店舗サポート事業のノウハウを、今後当社の製品技術・顧客サービスの向上に活用</li> </ul>
新製品の共同開発		<ul style="list-style-type: none"> <li>• ジャスダック上場のLED表示機事業会社。当社と取引関係にある。サッカー場などへの大型LED表示機広告、コンテンツ配信の有力企業</li> <li>• 当社との間では、相互の製品の販売促進(アビックスは大型製品を得意としており、当社は中小型製品が主力)及び新製品の共同開発で協業を行う予定</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 当社の主要株主。全国の観光地へ多言語・WiFiによる「おもてなし」事業を展開</li> <li>• 今後、多言語LED表示機・デジタルサイネージシステムの展開において、訪日観光客向けの製品開発・販売を進める上で、同社グループの持つノウハウ等を活用</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 東証2部に上場する独立系の投資会社として国内外において10年以上にわたり投資事業を行う</li> <li>• 同社のこれまでの投資先企業やその他の親密先企業で、当社の新製品共同開発パートナーとして適切と思われる企業の提案・紹介を受ける予定</li> </ul>

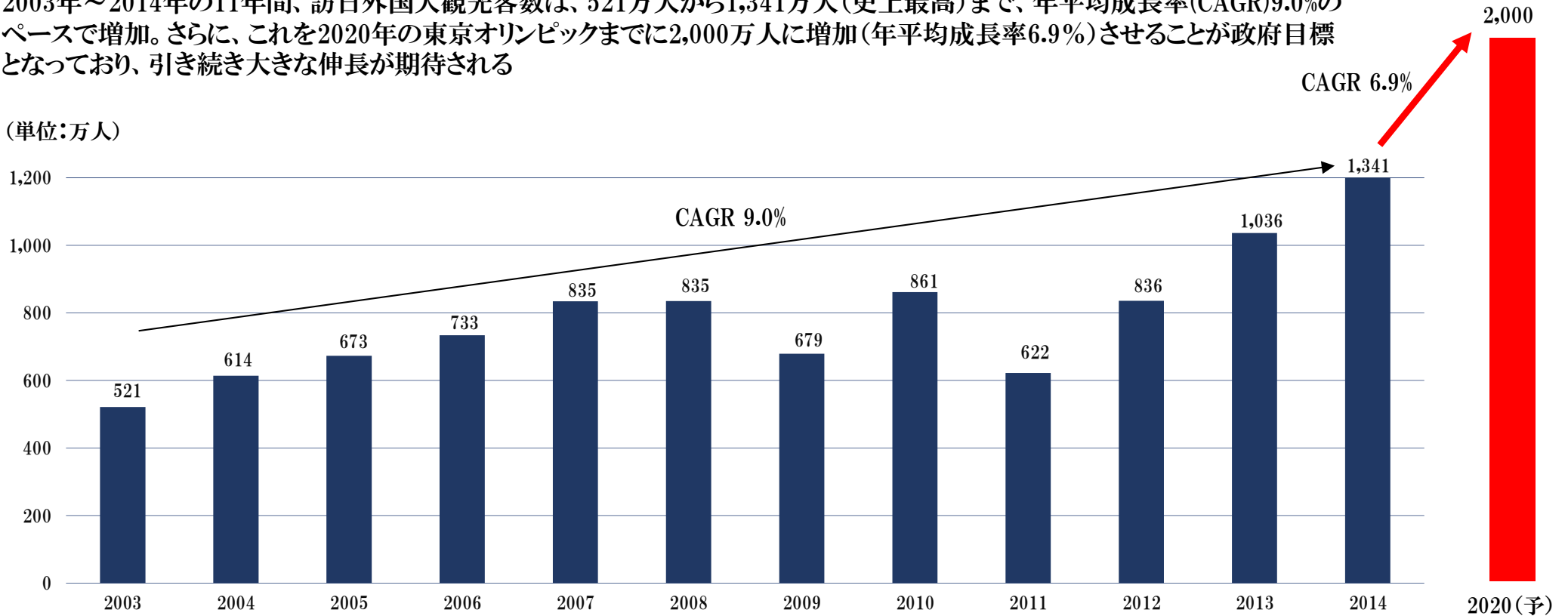


# 訪日外国人観光客(インバウンド)市場の推移と見通し - TBグループの新たな商機

## 訪日外国人観光客数の推移及び見通し

2003年～2014年の11年間、訪日外国人観光客数は、521万人から1,341万人(史上最高)まで、年平均成長率(CAGR)9.0%のペースで増加。さらに、これを2020年の東京オリンピックまでに2,000万人に増加(年平均成長率6.9%)させることが政府目標となっており、引き続き大きな伸長が期待される

(単位:万人)



(出所) 日本政府観光局(JNTO) 発表資料に基づきTBグループ作成

最近の  
訪日旅行の  
傾向

- 旅行市場の急速な個人旅行化(周遊旅行から、滞在型・体験型へ)
- 中国や東南アジア人訪日客の急激な増加
- 情報収集から予約手配、SNSによる情報共有までICT化の深化
- スマートデバイスなど携帯ツールの旅行者への普及と対応



TBグループの新たな商機

# 現在、開発中の多言語対応NEXTステージ製品及び主要ターゲット市場

## 多言語対応 LED表示機・デジタルサイネージ・案内ガイド等

- 訪日外国人観光客に対し、親しみやすく判りやすい顧客対応を可能とするLED表示機・デジタルサイネージ製品を開発
- 英語・中国語・スペイン語・アラビア語・タイ語等による観光案内・店舗案内・交通案内・サービスや商品説明等、多彩な情報提供を可能とする



多言語表示機：サムライボード



多言語音声ガイドペン(比叡山他多数導入)

## 多言語対応等 スマートレジ・決済システム

- 多言語対応のメニュー表示・注文・決済までの機能を提供する、新しいスマートレジシステムを開発
- 訪日外国人観光客は、客席のテーブル上に配置された業務用タブレット端末を操作して言語を選択し、メニューと商品説明を見て注文を行うことが可能となる



タブレット多言語注文

多言語オーダーキャッチレジ



レジデータをスマホで受けるレジキャッチ

## 主なターゲット市場

### 飲食店



### ホテル



### 観光地



### 小売店舗



### 空港・駅



# (ご参考)TBグループ概要



## LED & ECO 機器事業

売上26億円(構成比69%)

### LED表示機・デジタルサイネージ製品



#### LED表示機トップシェア

- 販売累計実績27万台超

#### デジタルサイネージトップシェア

- 導入累計実績1万台

### LED照明機器製品



#### 多彩な製品ライン

- 屋外用投光器、看板照明、室内用スポットライト、蛍光灯タイプ等

#### 高性能 & ECO

- 従来の蛍光灯・水銀灯等に比べ大幅な消費電力節減と長い耐久時間

## SA機器事業

売上11億円(構成比31%)

### レジスター・POSシステム等製品



#### 電子レジスター先発メーカー

- 累計販売台数35万台超

#### 病院プリペイドカードシステム トップシェア

- 累計設置台数40万台超

グループ企業

(株)TOWA  
(販売子会社)

(株)オービカル  
(販売子会社)

トータルテクノ(株)  
(R&D子会社)

(株)ホスピタルネット  
(持分法適用会社)

# 将来見通しに関する注意事項

- 当資料に記載されている株式会社TBグループ及び連結子会社(以下、当社グループ)の計画、見通し、戦略及び考え方は、当社グループの将来の業績に関する見通しを記載したものです。
- 当資料は、当資料が作成された時点で入手可能な情報に依拠した判断や考え方であり、当資料の見通しに依拠されることはお控えください。また、将来にわたって当資料が正確または有効な情報であると想定されることもお控えください。
- 様々の要素により、実際の業績は見通しとは異なる可能性があり、実際の業績に影響を与える要素には、以下のようものが含まれますが、これらに限定されるわけではありません。1. 当社グループの事業に影響を与える経済環境の変化、2. 継続的な新製品とサービスの導入、急速な技術革新に特徴づけられる競争の激しい市場において、ユーザーに受け入れられる製品とサービスを提供し続けることのできる当社グループの能力、3. パートナー企業との協業の進捗状況
- 当資料に記載されている将来の業績見通しに関する情報は、当資料が作成された時点のものです。当社グループは、新たな情報や発表日以降に発生する事象などによって、見通しまたは予測など、当社グループの将来の業績に関する見通しを更新しまたは修正する義務を負うものではありません。

## 【お問い合わせ窓口】

株式会社TBグループ 経営企画部

03-5684-2321